



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

## 湯沢河川国道事務所 トピックス



【お問い合わせ先】 湯沢河川国道事務所 〒012-0862 湯沢市関口字上寺沢 64 番地の 2 号

建設監督官 桜田 TEL 0183-73-5544

平成20年5月23日（金曜日）

## 第4回生保内川癒しウォークを開催しました

### 晴天に恵まれ、溪流の自然を満喫！

5月18日（日）、NPO法人「癒しの溪流・里・まちネット」が主催の「第4回生保内川癒しウォーク」が開催されました。

当日は、晴天に恵まれ、参加者68人が田沢湖総合開発センターに集合し、約1.5kmを散策しました。

途中、昭和35年の水害の記憶などの話を伺い、災害の記憶を風化させないためにも語り継ぐ必要性を感じました。

散策コースの途中に、市で整備したパーゴラが休憩ポイントとして喜ばれ、また、遊歩道の間伐材を活用したウッドチップ舗装は「高齢者でも足に負担が掛からないから良いね」と好評を得ていました。

※ パーゴラとは、ツタなどのつるを絡ませるため、角材などを使って格子に組んだ日陰棚。



☆ 昭和35年水害の状況を聞く参加者 ☆



☆ 快適な遊歩道（ウッドチップ舗装） ☆

生保内川癒しウォークは、春の自然と触れ合いながら、自らが住む街を流れる清流生保内川の魅力を再発見するとともに、昭和35年に15名の犠牲者を出した水害の歴史を風化させないために、水害の足跡もたどりながらウォークするためNPO法人「癒しの溪流・里・まちネット」が主催で開催されました。

### 【お知らせ】

NPO法人「癒しの溪流・里・まちネット」の「生保内川癒しの溪流づくり」に関する今年度の取り組み

①癒しウォーク：今回実施（5月18日）

②災害をみんなで考えよう（S35年水害慰霊祭発足会）：8月上旬予定

③癒しde交流（子供と高齢者が共に水辺で交流）：8月下旬予定

④癒しコンサート（「生保内川癒しの溪流づくり」が契機となり生保内川をテーマとしたオリジナル曲（福沢

恵介) : 秋頃を予定

※「生保内川癒しの溪流づくり」の背景、目的については、H19年度の記事を参照してください。



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

## 湯沢河川国道事務所 トピックス



〔お問い合わせ先〕 湯沢河川国道事務所 〒012-0862 湯沢市関口字上寺沢 64 番地の 2 号

調査第一課長 TEL 0183-73-5544

平成19年 6月 8日(金曜日)

### 「生保内川癒しの溪流づくり」報告会が開催される！！

心に癒しの原風景、体に癒しの原体験を育む溪流づくりを目指して

5月30日、ルポ - ルみずほ(秋田県秋田市内)において「生保内川癒しの溪流づくり報告会」が開催されました。

生保内川癒しの溪流づくりは、直轄火山砂防事業の土砂災害防止を目指して整備した仙北市(旧田沢湖町)の遊砂地(生保内川大暗渠えん堤)を中心に、そこに広がる自然豊かな溪流空間に着目し、健常者はもちろん高齢者や身障者等も含めたすべての人々が五感で癒しを感じ得る場としての整備や利活用・支援体制等の確立を目指し、平成13年度の懇談会の開催を皮切りに検討会や勉強会を通じ整備・利活用・組織作り等を進めており、このほど活動の核となる遊歩道や水辺広場等が概成すると共に、活動とサポ - ト組織として地域住民や市民グループが参加した「NPO法人癒しの溪流・里・まちネット」が本年3月に設立したところです。

今回の報告会は、平成15年3月の懇談会で出された「ハ - ド・ソフト・ハ - ト」の三本柱を基本方針とした提言に対し、これまで実施した様々な取り組みの経過を懇談会メンバーに報告しその評価を頂くと共に、今後の癒しの溪流づくりの維持発展に向けた意見交換を目的に開催したものです。

出席者からは一様に、提言に沿った整備・組織形成に歓心が寄せられると共に、今後広く利活用を促すための情報発信やアピールが必要との意見が交わされ、「生保内川癒しの溪流」の更なる発展に期待が寄せられました。



写真上：報告会の状況



現地整備された散策路  
(現地の間伐材を利用したウッドチップ舗装)



写真右：NPO法人設立までの活動経過を報告する菅原理事長



写真左：過去の活動状況